

インターネット回答をしてみよう！

近年、「デジタル化」や「DX」という言葉をよく耳にするようになりました。統計調査においても、デジタル化が進み、様々な調査でインターネット回答が可能になりました。では、インターネット回答はどの程度利用されているのでしょうか。

令和2年国勢調査におけるインターネット回答率

インターネット回答方式は、様々な調査で導入されていますが、今回は国勢調査を例に見ていきます。表1のとおり、令和2年国勢調査における全国のインターネット回答率は、37.9%となっています。意外と低いと感じた方も多いのではないのでしょうか。ちなみに、静岡県のインターネット回答率は**44.7%**で全国平均を大きく上回り、**全国第2位**の回答率となりました。

令和2年国勢調査におけるインターネット回答率の目標は50%でしたが、回答率1位の富山県でさえ、この目標には届いていません。このことから、インターネット回答は、まだ浸透しきっていないといえます。

表1 令和2年国勢調査の都道府県別インターネット回答率上位5県

順位	県	回答率(%)
1位	富山県	45.0
2位	静岡県	44.7
3位	滋賀県	42.4
4位	愛知県	42.2
5位	神奈川県	42.0
(参考)全国		37.9

静岡県はインターネット回答が比較的進んでいるんだね！



出典:総務省 HP 「令和2年国勢調査の概要」

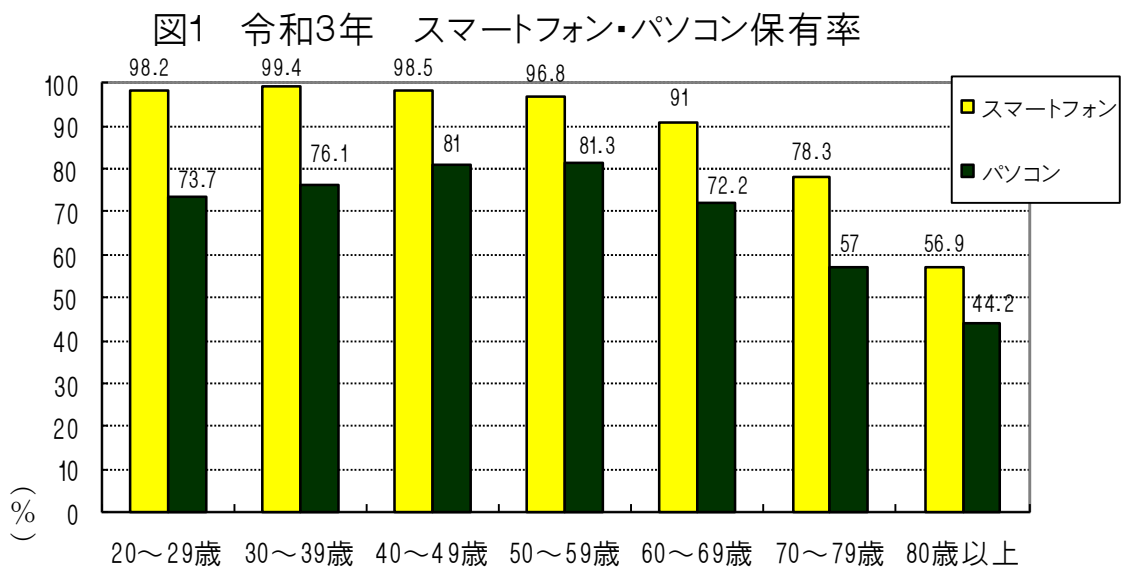
インターネット回答のメリットってなに？

- 隙間時間を使って簡単に回答できる
- どこでも回答できる(電車、バスなどの移動中、会社など…)
- 調査票を紛失する心配がなくなる
- 調査票の情報を人に見られることがない
- 調査員の訪問・回収を待たなくても良い
- 自治体の業務負担が大きく軽減される

インターネット回答率は上がるの？

インターネット回答は、パソコンはもちろんですが、スマートフォンでも出来ることは御存じでしたか？
図1を見てみると、令和3年のスマートフォン保有率は20代～60代において90%を超えています。また、70代が78.3%、80歳以上も56.9%と半数以上が保有しています。このように、スマートフォンは全世代において普及しており、インターネット回答をするための環境は整っているとと言えます。インターネット回答の手軽さが今よりも認知されれば、回答率は上がっていくのではないかと期待しています。

ぜひ、皆さんもスマートフォンからインターネット回答をしてみましょう。



資料 総務省 「令和3年通信利用動向調査」

まとめ

紙の調査票で回答をすることが面倒に感じる方は、1度インターネット回答を試してみるのはいかがでしょうか。面倒に思っていた統計調査への価値観が変わるかもしれません。

今年の10月1日には、就業構造基本調査が行われます。調査対象となった方は、ぜひ、インターネット回答を試してみてください。

